

NPR

第124期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

Contents

株主の皆様へ

セグメント別事業概要

連結財務諸表

トピックス

会社情報



日本ピストンリング株式会社

証券コード：6461



取締役社長 山本 彰

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当中間期の事業概要等についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、輸出等に弱さがみられたものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調を維持しました。また、世界経済においては、米中貿易摩擦等の影響を受け、経済成長率の減速が続く不安定な状況で推移いたしました。

このような環境の中で、当グループは持続的な成長をは

かるべく、2021年3月期を最終年度とした第七次中期経営計画にて、『「変化に強いモノづくり」による企業価値の向上～マーケティング&イノベーションによる100年企業の土台作り～』を基本方針とし、事業基盤の拡充による企業価値の向上を推しすすめております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当中間期の業績についての概要

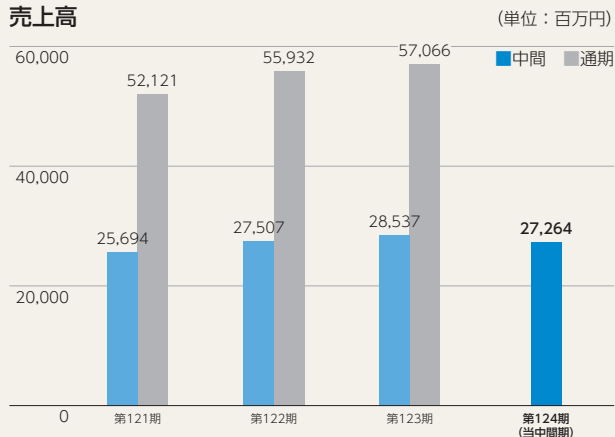
当グループが関連する自動車業界におきましては、中国・インド等の新興国経済の成長鈍化により、世界の自動車生産台数は低調な推移となりました。

このような状況を受け、当グループの売上高は272億64百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

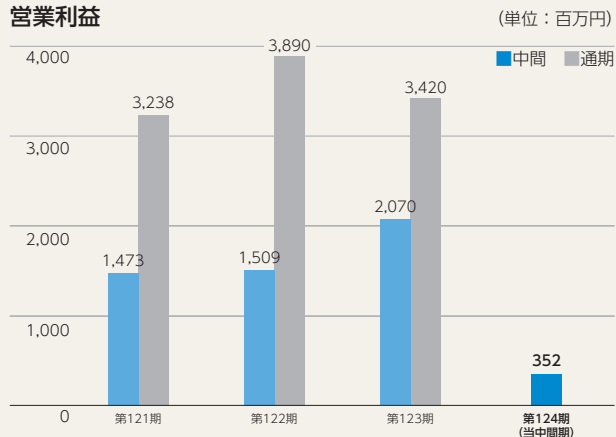
損益面におきましては、原価低減を推し進めてまいりましたが、減産や受注構成の変化等により、営業利益は3億52百万円（前年同期比83.0%減）、経常利益は3億39百万円（前年同期比83.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は41百万円（前年同期比96.5%減）となりました。

■ 決算ハイライト

売上高



営業利益



通期の見通しについて

世界経済におきましては、通商問題を巡る緊張や中国経済の先行き等、海外経済の不確実性は増しており、依然として不透明な状況が続くものと思われます。

当グループが関連する自動車業界におきましても、海外での需要が引き続き低調に推移することが予想されます。

このような状況を踏まえ、2019年度の通期見通しにつきましては、売上高555億円、営業利益15億円、経常利益15億円、親会社株主に帰属する当期純利益7億円を予想しております。引き続き当グループは市場動向や顧客ニーズに迅速に対応した販売活動を展開するとともに、革新的モノづくりによる原価低減を強力に推し進め、株主の皆様のご期待にお応えすべく努力してまいります。

今後の事業展開について

当グループは持続的な成長をはかるため、2021年3月期を最終年度とした第七次中期経営計画にて以下の重点施策に取り組んでおります。

【基本方針】

「変化に強いモノづくり」による企業価値の向上
～マーケティング&イノベーションによる
100年企業の土台作り～

【目標値（2021年3月期）】

売上高：580億円以上、営業利益率7.5%以上

【重点施策】

- (1) 国内外での技術提案型営業の強化
- (2) 革新的モノづくりの追究
- (3) 新製品開発の強化
- (4) 人材育成強化による「世界最高品質の追求」
- (5) CSR活動の継続的推進

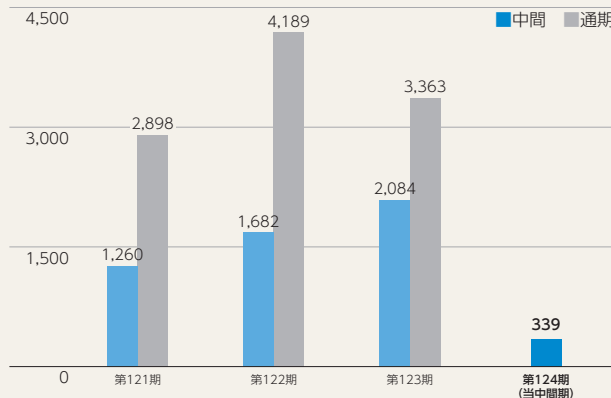
配当について

配当につきましては、業績に応じた適切かつ安定的な利益配分を行うことを経営の重要政策の一つと位置づけており、当中間期の配当は1株当たり20円とさせていただきます。

これにより年間配当は、期末配当55円（予想）と合わせて、1株につき75円を予定させていただきます。

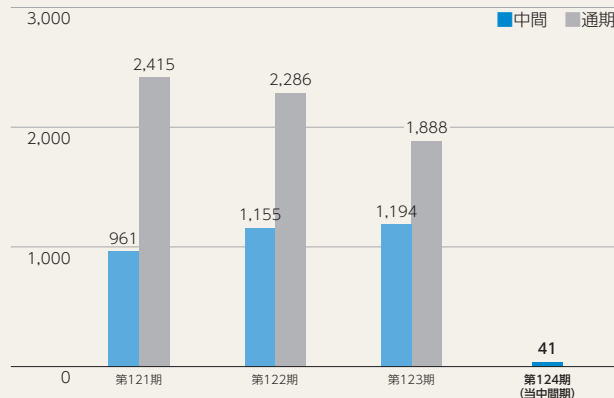
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

(単位：百万円)



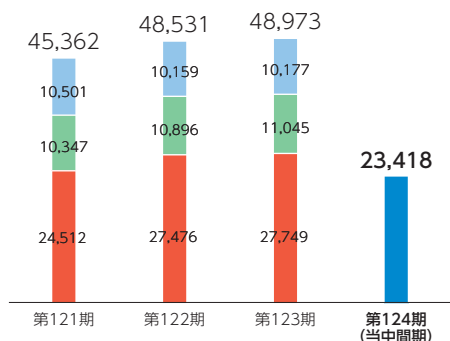
セグメント別事業概要

自動車 関連製品 事業

(売上高構成比)
85.9%

売上高の推移

(単位：百万円)



自動車関連製品事業は、新興国経済の成長鈍化による減産影響等により、売上高は234億18百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

ピストンリング 13,449百万円(▲2.8%)

バルブシート 5,059百万円(▲8.5%)

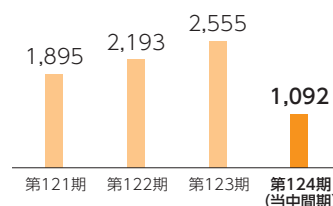
その他自動車
関連製品 4,909百万円(▲2.5%)

舶用・ その他の 製品事業

(売上高構成比)
4.0%

売上高の推移

(単位：百万円)



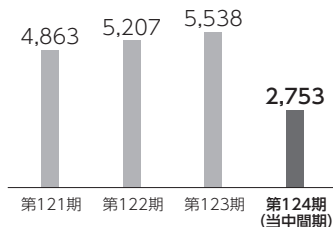
舶用・その他の製品事業は、産業機械向け製品等の需要減少により、売上高は10億92百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

その他

(売上高構成比)
10.1%

売上高の推移

(単位：百万円)



商品等の販売事業を含むその他の売上高は、27億53百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

売上高
272億64百万円
(前年同期比4.5%減)

連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	前期末 2019年3月31日現在	当中間期末 2019年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	28,489	26,879
固定資産	37,304	37,495
有形固定資産	29,840	29,990
無形固定資産	815	873
投資その他の資産	6,648	6,631
資産合計	65,793	64,374
(負債の部)		
流動負債	23,001	23,548
固定負債	10,296	9,069
負債合計	33,298	32,618
(純資産の部)		
株主資本	30,189	29,860
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	6,080	6,080
利益剰余金	14,599	14,270
自己株式	△330	△330
その他の包括利益累計額	977	551
新株予約権	94	116
非支配株主持分	1,233	1,228
純資産合計	32,495	31,756
負債・純資産合計	65,793	64,374

■ 中間連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前中間期 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	当中間期 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
売上高	28,537	27,264
売上原価	21,693	21,938
売上総利益	6,844	5,325
販売費及び一般管理費	4,774	4,973
営業利益	2,070	352
営業外収益	204	254
営業外費用	190	267
経常利益	2,084	339
特別利益	—	137
特別損失	108	—
税金等調整前中間純利益	1,976	476
法人税、住民税及び事業税	609	329
法人税等調整額	105	71
中間純利益	1,261	75
非支配株主に帰属する中間純利益	67	34
親会社株主に帰属する中間純利益	1,194	41

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前中間期 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	当中間期 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,497	2,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,805	△2,165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,372	△748
現金及び現金同等物に係る換算差額	△147	△60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	171	△714
現金及び現金同等物の期首残高	4,911	4,386
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,083	3,671

(注) 各連結財務諸表の詳細につきましては、当社ホームページ掲載の決算短信をご覧ください。(ホームページアドレスは裏表紙ご参照)

トピック1

「東京モーターショー2019」に出展

10月24日から11月4日まで東京ビックサイトにて開催された第46回東京モーターショーに出展いたしました。

当社ブースでは、環境への負荷を軽減する製品開発の取り組みとして、摩擦力を低減してエンジンの燃費向上を実現するDLC (Diamond-Like Carbon) 被膜ピストンリングやディンプルライナを紹介いたしました。

また、幅広い分野で複雑形状部品の製造を低コストで実現したメタモールド、当社固有の材料技術を生かしたEV化製品等、多種多様な部品も展示いたしました。

モーターショーは大盛況で終幕し、当社ブースへも多くの方に足を運んでいただきました。



トピック2

日産自動車株式会社より 『Global Quality Award (グローバル品質賞)』を受賞

日産自動車株式会社より、当グループのグローバルでの品質活動への取り組みが評価され、『Global Quality Award』を初めて受賞することができました。

同社の開発/生産/購買/市場品質改善の4部門から高い評価をいただいたことによるものです。

お客様の信頼をより一層高めるために、引き続き、品質維持向上活動に努めてまいります。



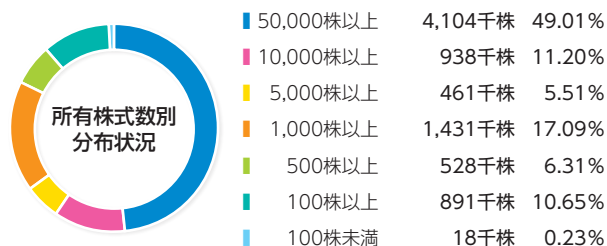
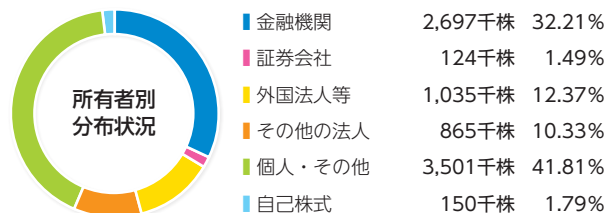
■ 会社の概要

商号	日本ピストンリング株式会社
本社所在地	埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
設立	1934年(昭和9年)12月20日
資本金	98億39百万円
従業員数	連結:3,021名 個別:681名
主な事業内容	ピストンリング、バルブシートをはじめとした国内外の自動車関連製品・陸船エンジン用組付・補修部品ならびにその他各種部品の製造・販売

■ 株式の状況

発行可能株式総数	19,545,000株
発行済株式の総数	8,374,157株
株主数	8,402名

■ 株式分布状況



■ 役員

取締役社長	山本 彰	執行役員	太田 一人
取締役副社長	大石 滋	執行役員	津田 信徳
常務取締役	坂本 裕司	執行役員	小川 義孝
常務取締役	高橋 輝夫	執行役員	小野寺義男
取締役	藤田 雅章	執行役員	越場 裕人
取締役	楊 忠亮	執行役員	梶原 誠人
取締役	南雲 良介	執行役員	犬塚 秀昭
取締役	石井 歓	執行役員	西牟田英樹
常勤監査役	佐藤 嘉博	執行役員	岸谷 隆雄
常勤監査役	平石 巖		
監査役	石橋 博		
監査役	高井 治		
監査役	木村 博紀		

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	552	6.72
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	383	4.66
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	373	4.54
朝日生命保険相互会社	259	3.15
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	198	2.41
日本ピストンリング持株会	197	2.40
株式会社新生銀行	165	2.01
東京海上日動火災保険株式会社	157	1.91
三菱UFJ信託銀行株式会社	148	1.80
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	144	1.75

(注) 1. 自己株式(150千株)は上記記載から除いております。
2. 持株比率は自己株式(150千株)を除いて計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.npr.co.jp/ ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。

お知らせ (ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



日本ピストンリング株式会社

〒338-8503 埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
TEL. 048-856-5011 FAX. 048-856-5035 <https://www.npr.co.jp/>

当社ホームページのご紹介



会社案内、製品紹介をはじめ、最新のIR情報、技術情報、環境への取り組み状況等を適時掲載しております。

<https://www.npr.co.jp/>

